

在学生の声



内田 勘二さん
海事システム工学科 4 年
埼玉県立春日部高等学校卒業

これからの海運を考えて

乗船実習という、1 ヶ月以上もの時間を仲間と過ごすといった貴重な経験できることが、この大学の一番の魅力だと思います。そのほかにも遠泳実習や実験などにおいても、お互いに支え合うことが多く、学科全体として強いつながりができ、親密な関係を築けます。

私は航海士を目指して本学科を志望しましたが、本学科は航海士としての専門知識のみだけではなく、船舶管理や造船学などの船に乗る以外で船に携わるために必要な知識、またリーダーシップなどの組織管理術や保険契約法に関わる話など、船から発展して幅広い分野に勉強を広げていくことができます。

貿易立国である日本を支える海運はこれからもっと大きく発展していきます。その流れの中で、自分がどのような分野で活躍したいのかを、大学生活の中で良き友人たちと共に探してみてください。



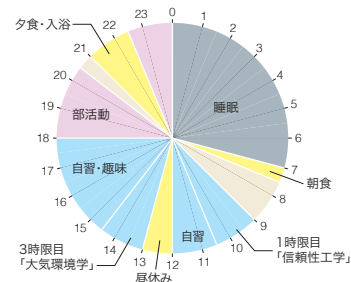
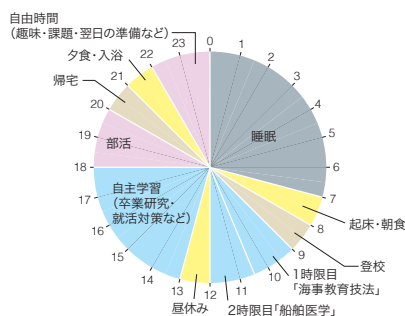
矢野 幸さん
海事システム工学科 2 年
藤女子高等学校卒業

小規模大学だからこそそのキャンパスライフ

東京海洋大学は小規模な大学で学生数が少ないため、学生同士でも学年を超えて様々な人と親密な関係を築くチャンスがあります。さらに、教授との距離も近いため、学生一人一人が教授の手厚い支援を受けることができます。努力がみてもらえているということ、そしてそれを支援してもらえるということは実際にとても励みになります。

また、海事システム工学科では実学を重視したカリキュラムが組まれており、本学科ならではの実習もたくさんあります。将来即戦力として活躍できる知識と技術が身につくとともに、実習が仲間を見つけるきっかけとなることと思います。

海洋大の学生には、オンとオフのメリハリをきちんとつけられる人が多いと感じています。ぜひ素敵な仲間を見つけて海洋大のキャンパスライフを楽しんでください。



在学生の声

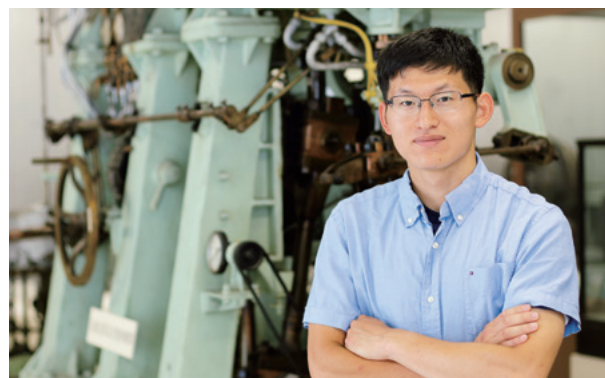
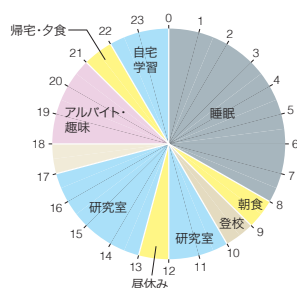


宮野 枝梨花さん
海洋電子機械工学科 4 年
麗澤高等学校卒業

海を学び、世界で活躍するエンジニアへ

高校生の頃から電子工作などモノづくりに興味があり、工学部でも実習や実験を通して知識や技術を身に付けたいと考え、この学科を志望しました。海洋電子機械工学科には、少人数だからこそ教授から直接指導して頂ける実験、実践的な学習ができる遠泳実習や乗船実習など、新しいことに挑戦していける環境がたくさんあります。

私は大学生活を通して、技術者として必要な工学や船舶の知識はもちろん、在校生・教授と直接かかわる機会が多かったので、視野が広がりコミュニケーションスキルを磨くことができました。就職活動においても、この経験で身に付けた能力が自分の自信へとつながり、幅広い選択肢の中から自分に合った道を探すことが出来たと感じています。本学は海や船を学ぶことで自分の専門性を高め、やりたいと思うことを見つけて実践できる大学だと思っています。

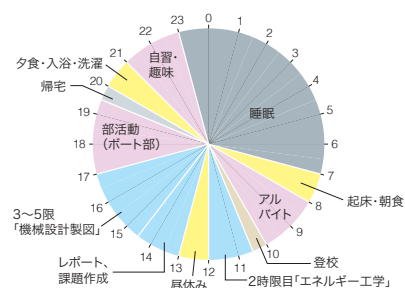


箱崎 勝也さん
海洋電子機械工学科 3 年
鎌倉学園高等学校卒業

船にどんなイメージをもっていますか？

幼い頃から、乗り物に興味があった自分には、海の上を走るためにエンジンだけでなく、発電機や冷凍機など多数の機械が搭載され、海上で動き続ける一つのプラントである船舶というものを通じ、流体力学、機械工学、電気工学などの工学分野を幅広く学ぶことができるこの学科はかなり魅力的でした。大学では、講義で理論を学ぶだけでなく実習・実験にて関連する装置を取扱うので理解を深められます。船舶実習では実際に船に乗り約一カ月間海の上にいるので、長いと感じるかもしれませんが、船について深く知り、船を好きになれます。船を知るための最高の環境がここにはあります。実習を通じて仲間とも親密な関係が築けますね。

海や船に最初は興味がない人でもこの大学でしかできない、特別なことに挑戦してみてもいいです。将来へ向け絶対に良い経験、自信になるとと思います。



在学生の声

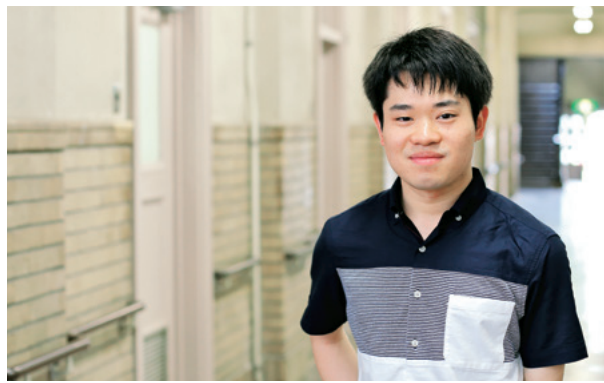
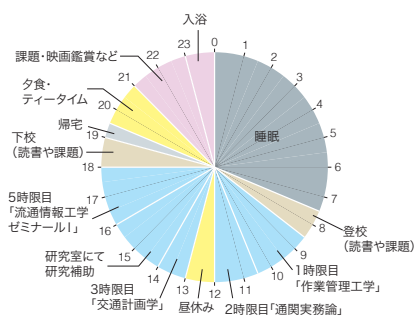


長谷川 うらんさん

流通情報工学科3年
洗足学園高等学校卒業

学習する分野の幅が広い！

流通情報工学科は、生活に必要な物やお金、情報などの流通について研究している学科です。生産者から消費者までの流通過程がスムーズに流れることは私たちの生活にとって有益です。本学科で学ぶのは、多くの専門分野にまたがる、効率的な流通の基礎となる知識です。下に示した私の金曜日のスケジュール表の授業名で説明します。「交通計画学」では環境負荷を少なくする交通機関や効率的な流通のための方法を、「作業管理工学」では倉庫で管理する際の物品に関する情報管理を、「通関実務論」では海外との貿易時の具体的な実務を、他にも経済、法律、コンピュータ科学、人間工学など、様々なことを学びます。私は週に2日、人間の情報処理に関連した分野である認知科学の実験の手伝いをしています。人間の情報処理を学ぶことで、流通に携わる人々の働き方をより快適なものにするための勉強ができるのではと考えています。



佐藤 良亮さん

流通情報工学科4年
桐蔭学園中等教育学校卒業

自分のやりたいことが見つかります。

流通情報工学科では、今の世の中には欠かせない物流や、プログラミングなど情報系の内容について学びます。

実際に勉強してみると、その内容が多岐に渡っており、色々なことに応用できるのではないかと可能性の幅を感じています。

私自身、入学当初はパソコンの操作も不慣れで、将来やりたいことも全く決まっていませんでした。しかし、授業で様々なことを学ぶにつれ、プログラミングにとっても興味を持ち、将来はこの知識を活かせる職業に就きたいと思うようになりました。

また、部活動もさかんです。私は今までに経験のなかったオーケストラ部に所属し、多くの仲間と助け合いました。音楽を楽しむだけではなく、コミュニケーションをとることや同じものを仲間と作りあげるといったことの大切さなど様々なことを学びました。是非、この大学の授業や部活動を通して自分のやりたいことを見つけてください。

